



# 勝間田小学校で第3回学校運営協議会が行われました

日時 令和3年2月25日(木) 14時00分から15時30分まで

場所 勝間田小学校 多目的ホール

参加者

学校運営協議会メンバー(6名(校長を含む))

教頭・教務主任・教育長・教育委員1名・事務局職員2名

吉田町教委より2名・市内小中学校より(校長2名・教頭2名・CSD3名)



勝間田小学校の第3回の学校運営協議会は6人で行う協議会を15人が見守るといってもアンバランスな人数配分に…。他校や他市町からも「学校運営協議会の様子を見学させてください」という声が多く、これでも見学を見合わせていただいた方もいらっしゃったのだそうです。

まずは、中嶋教頭先生と鈴木CSディレクターから実践の振り返りを聞かせていただきました。どのエピソードにも必ず地域の方の姿とやさしい笑顔があって、そんなみなさんに見守られている子どもたちもまた笑顔になって…。とても温かい気持ちになりました。

子どもたちがアルミ缶を回収し、それをお金に換え、相手が喜んでくれるものは何かを話し合い、「憩いの家 みち」にトイレトーパーをプレゼントした話、そして石津委員からの「もったいなくて使えません。飾っておきます!」の言葉。心と心の交流のエピソードに涙が出そうになりました。

協議会の中では以下のような意見が交わされました。

「読み聞かせにとってはマスクの問題も、子どもとの距離の問題もあり、なかなか大変でした。大型絵本の購入なども検討できたらうれしいです。」

「図書館の一般開放はおもしろいかもね。コーヒーの香りのする図書館なんていいかもしれない。本も一つの切り口になる可能性はあるかもしれないね。」

「12月に講演をしてくださった小西先生も、地域の人と一緒に学ぶのもいいとおっしゃっていましたよ。萩間小はすでに書初めに取り組んだみたいですし。」

「地域の方が教えてくれた折り紙に、子どもたちが興味をもち、それが掲示や飾りに使われるようになりました。ちょっとしたことがきっかけになる様子に驚きました。」

「僕はいつもディレクターの立場でCS通信を書いているけれど、見ているポイントは人によって全然違うと思うんだよね。いろいろな人がそれぞれの立場と視点で、気づいたことを書く方がいいんじゃないかな。CS通信は委員の誰が書いてもいいと思いますよ。」

「校長先生や教頭先生のおかげで、学校では何をしてもいいんじゃないかと思えてきます。」

最後には橋本教育長から、『勝間田地区の「ええじゃん勝間田」という歌に「ええじゃん、ええじゃん、そうまい」というフレーズがありますが、この協議会の雰囲気はその歌にぴったりですね。期待値以上の取組みに驚いています。地域にあった地域ならではのやり方で勝間田らしいコミュニティ・スクールを作っていくって下さい!』との講評をいただきました。

助ける、支援する…コミュニティ・スクールはそんなイメージで語られがちですが、地域とともに楽しみながら作り上げていくコミュニティ・スクールにまた一歩近づきました。



委員の手で作成した読み聞かせ体験のチラシ